

公立大学法人神戸市外国語大学 第3期中期目標（案）の概要

第1 グローバルに活躍できる人材の育成

1 高次元のコミュニケーション能力の養成

○幅広い教養と専門知識、高いコミュニケーション能力、主体的、実践的な行動力を備えた人材の育成

2 教育プログラムの発展的充実

○語学教育と専門教育の有機的な連携、教育組織の改革、新たな教育課程の構築
○初年次教育の充実、教員の教育能力のさらなる向上・改善

3 開かれた大学院教育

○人文社会科学の最先端をリードする研究者の養成、グローバルで活躍できる高度職業人の育成

4 入試制度の再構築

5 学生への支援

○ニーズが多様化する学生の「学び」「生活」「就職」へのきめ細やかな支援

第2 高度な学術研究の推進

1 外国学の国際的な研究拠点としての役割の充実

○大学独自の研究プロジェクトや共同研究、外部資金を活用した研究活動の活性化

2 研究成果の教育への反映

○最先端の学術成果を活用した教育内容の充実

3 内外の研究機関との学術提携・学術交流

○国内外の大学・研究機関との学術提携、外国人研究者の招聘

第5 柔軟で機動的な大学運営

1 自律的・効率的な大学運営

○理事長・学長のリーダーシップの下、中長期的な視点による魅力的な大学づくりの推進
○教職員の研修（スタッフディベロップメント）への組織的な取り組み

2 大学データの蓄積及び活用

○大学が蓄積・保有する様々な情報の収集・管理・分析による教育課程や大学運営の改善

3 適正な人事・組織

○適正な教職員人事による魅力ある人材育成、事務局組織の再編
○積極的な女性管理職の登用を含む、性別にとられない共同参画の推進

第3 大学ブランドの確立と戦略的な魅力発信

1 ブランド構築に向けた組織的かつ長期的な取り組み

○学生の修学成果の積極的な発信による大学の教育力の周知
○教員の高度な学問研究の成果発信のための環境整備

2 戦略的かつ効果的な魅力発信

○発信すべき魅力の客観的把握、教育関係者、学生、企業等対象に応じた効果的な広報の展開

第3期中期目標 策定の視点

①グローバル社会で活躍できる
幅広い知識と柔軟な判断力を
備えた人材の育成

②研究活動の推進と外国学の
研究拠点としての役割の強化
③大学ブランドの確立と大学の
魅力や特色の戦略的・効果的
な発信

④国際交流の促進と大学の特色
を活かした地域貢献の推進

第4 神戸と世界の架橋

1 留学支援制度の充実と国際交流の促進

○多様な留学のあり方に対応した、留学支援制度の整備
○海外からの留学生の積極的な受け入れ、学生間の交流による神戸の国際的な認知度向上

2 神戸市の教育拠点としての役割の充実

○優秀な語学教員の養成・輩出、初等・中等教育における英語教育の積極的な支援

3 国際都市神戸への貢献

○学生の通訳・翻訳活動等の支援による、特色を生かした地域貢献、地元企業との連携

4 市民の生涯学習支援

○社会人学生の受け入れ等による「学び直し」や生涯学習の機会の提供

5 ボランティア活動の支援

○個々の学生の関心に応じた、学生の主体的なボランティア活動の支援

4 財務内容の改善

○多様な自己財源の確保、経常経費の削減

5 自己点検及び評価の適切な実施

○自己点検及び評価の適切な実施、第三者機関による評価結果を踏まえた大学運営の改善
○内部質保証に対する取り組み

6 情報環境・システムの整備

○ICT環境の整備やシステムの計画的な導入による教育研究環境の向上と事務執行の効率化
○情報管理の徹底

7 その他業務運営

○自然災害・海外における危機事象に対する危機管理の強化
○働きやすく、働きがいのある職場環境の提供